

衆議院外務委員会ニュース

【第210回国会】令和4年11月9日（水）、第5回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・ 林外務大臣、武井俊輔外務副大臣、西田昭二国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）源馬謙太郎君（立憲）、青山大人君（立憲）、篠原豪君（立憲）、杉本和巳君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

源馬謙太郎君（立憲）

台湾情勢

- ア 台湾人のアイデンティティを尊重する観点から米国の台湾関係法のような法律を整備する必要性について武井外務副大臣の見解
- イ 台湾との交流に積極的に取り組んできたとする武井外務副大臣から見た我が国政府の台湾政策の評価及び改善点
- ウ 台湾との外交関係は「実質的に自民党が担ってきた」との自分自身のツイートについて武井外務副大臣の認識
- エ 台湾と同じく国家承認をしていないパレスチナの駐日常駐総代表部の車両に外交官ナンバーを発給して台北駐日経済文化代表処の車両に外交官ナンバーを発給しない理由
- オ 現行の戸籍の「国籍」欄を「国籍・地域」に変更した場合の実害
- カ 我が国の台湾政策をめぐる課題に対し積極的に取り組む必要性について武井外務副大臣の見解

青山大人君（立憲）

- （1） 日本版マグニツキー法制定の必要性についての林外務大臣の所見及び政府による法整備に向けた検討・研究の状況
- （2） 取組が遅れていると指摘されている人権デューデリジェンスに対する政府の見解及び今後の見通し
- （3） 高速道路の訪日外国人向けの観光周遊パス（Japan Expressway Pass）
 - ア 外国人旅行者による観光地でのレンタカー事故が増加していることを踏まえ現在受付停止中の周遊パスを引き続き停止又は廃止する必要性
 - イ 周遊パスは外国人だけに恩恵を与えるのみならず高速道路の建設等に係る債務の返済を遅らせることになるとの指摘に対する西田国土交通大臣政務官の所見
- （4） 台湾のCPTPP加入交渉の状況

篠原豪君（立憲）

- （1） 安保理改革
 - ア 神余元国連大使による今次国連総会での拒否権改革に積極的に取り組むべきとの指摘に対する林外務大臣の評価
 - イ 任期が長く連続当選も可能な準常任理事国の創設など安保理改革の具体的なプランについて林外務大臣の所感
 - ウ 安保理改革の具体的な進め方について林外務大臣の見解
- （2） ロシアによるウクライナ侵略非難決議等への不賛成国を減少させるための具体的な外交努力
- （3） 核兵器不拡散条約（NPT）体制堅持の趣旨からもロシアがウクライナ侵略において核兵器を使用しないよう呼びかける国連決議のイニシアチブを日本が取ることについて林外務大臣の所見

- (4) これまでの融和的と見られた対ロ外交に対する林外務大臣の評価並びに現在及び今後の政策転換について林外務大臣の見解

杉本和巳君（維新）

- (1) 外相就任 1 年の自己評価及び岸田総理の言う「新時代リアリズム外交」と林外務大臣の所信的発言にある「三つの覚悟」との関係性
- (2) 政府による盗聴リスク対策
- (3) 「マンハッタン計画（第二次大戦中の米国の原爆開発・製造計画）」に対する政府の認識
- (4) ロシアによる核使用リスクについて G 7 等における議論
- (5) 国家承認について 2015 年に我が国がニウエを承認した理由及び経緯